

◆ 概要

地域に根差し、地域から発想する新たな建築史学が求められている。つくば市をフィールドに、その可能性を日韓の研究者が集って考えたい。古代の官衙遺跡、中～近世の寺院建築、近世～近代の町並みと集落が取り上げられる。

- ・ 日程：2月23日(日) 9:00～17:45
- ・ 言語：英語 ※質疑応答・ディスカッション等は日本語⇄韓国語も使用します
- ・ 形式：対面／オンライン(ハイブリッド)
- ・ 対面会場：つくば国際会議場(小会議室303、つくば市竹園2-20-3)
- ・ オンライン参加申し込みフォーム：
<https://forms.gle/b5igmAJYciQfTh36A>



◆ 内容の詳細

- 9:00～9:10 趣旨説明(藤川昌樹・禹東善)
- 9:10～10:30 古代：規範の誕生
 - 「古代日本における地方官衙と律令制」海野聡
 - 「皇龍寺鐘経楼の再考」玄勝旭
- 10:40～12:00 中世：地域の展開Ⅰ
 - 「地方寺院の伽藍構成と建築様式」鈴木智大
 - 「朝鮮前期嶺南地域の住居建築のテゴンの意匠」李雨鍾
- 13:00～14:20 近世：地域の展開Ⅱ
 - 「在郷町の町並みと建築」梅干野成央
 - 「朝鮮後期における八尺間の拡散」李康民
- 14:30～16:00 近代：成熟と開発
 - 「関東地方の屋敷林と近・現代の景観変容」不破正仁
 - 「韓半島北部沿岸地域の都市と開発」金ハナ
- 16:00～16:30 ユーヒー・ブレイク
- 16:30～17:45 ディスカッション(司会：中谷礼仁)

◆ 参加者

(韓国)

현승욱 玄勝旭 HYUN Seung Wook (江原大学校)
허유진 許由眞 HUH Yoojin (釜山大学校)
이우종 李雨鍾 LEE Woo-Jong (嶺南大学校)
신웅주 申雄州 SHIN Woongju (朝鮮大学校)
조재모 曹在模 CHO JAEMO (慶北大学校)
이강민 李康民 LEE Kangmin (韓国国立芸術学校)
이길훈 李佶勳 LEE Kilhun (ソウル市立大学校)
우동선 禹東善 WOO Don-Son (韓国国立芸術学校)
김하나 金ハナ KIM Hana (梨花女子大学校)
강영지 姜姈志 KANG Youngji (カトリック大学校)

(日本)

海野聡 UNNO Satoshi (東京大学)
中谷礼仁 NAKATANI Norihito (早稲田大学)
鈴木智大 SUZUKI Tomohiro (奈良国立文化財研究所)
前川歩 MAEKAWA Ayumu (畿央大学)
梅干野成央 HOYANO Shigeo (信州大学)
藤川昌樹 FUJIKAWA Masaki (筑波大学)
小柏典華 OGASHIWA Norika (芝浦工業大学)
不破正仁 FUWA Masahito (東北工業大学)
水田丞 MIZUTA Susumu (広島大学)
中山利恵 NAKAYAMA Rie (京都工芸繊維大学)

主催：藤川昌樹・中谷礼仁／禹東善・曹在模

問合せ：fujikawa@sk.tsukuba.ac.jp

後援：建築史学会(日本)・韓国建築歴史学会(韓国)

協賛：海野科研(「美術史学・考古学・建築史学の複合手法による東アジア建築技術伝播ルートの解明」)